

第101回大腸癌研究会 大腸癌化学療法委員会 報告（2024/07/11、名古屋）

山崎健太郎*（静岡がん） 石川敏昭（順天堂大） 石黒めぐみ（東京医科歯科大） 植竹宏之（災害医療センター）
沖英次（九州大） 掛地吉弘（神戸大） 佐竹悠良（高知大） 篠崎英司（がん研有明） 杉本直俊（大阪国際がん）
高島淳生（国がん中央） 寺石文則（岡山大） 森脇俊和（倉敷中央） 吉野孝之（国がん東） [委員五十音順]

委員代理出席者：岡田耕一、梶原由規（防衛医大） 土橋賢司（九州大）

1. レゴラフェニブおよびTAS-102以外の標準治療薬に不応/不耐となった治癒切除 不能大腸がんに対するレゴラフェニブ単独療法とTAS-102単独療法を比較する多施設共同観察研究（**REGOTAS**）
 - N=**550**例集積（1+7付随研究：論文7、**投稿先検討中1**）
2. 実臨床における治癒切除不能進行再発結腸直腸癌に対する初回治療としてのFOLFOXIRI/
FOLFOXIRI+Bevacizumab療法の効果と安全性を評価する多施設共同観察研究（**TRIPON**）
 - N=**129**例集積（280例目標）（学会：JSMO2022、論文：**IJCO投稿中**）
3. RAS遺伝子野生型の治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する、一次治療での抗VEGF抗体薬または抗EGFR抗体薬併用療法の有効性を腫瘍占居部位別に比較する観察研究
 - N= **935**例集積（R**213**, L**722**）（学会：JSMO2021 奨励賞受賞、論文1、**付随研究4 [論文作成中3、PRTドラフト完成1]**）
4. 高齢者Stage III大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査（多施設共同観察研究）（**MOEST**）
 - 参加施設91施設、登録症例数**3,739**例（**解析中**）
5. 切除不能進行・再発大腸癌における希少なサブタイプの診療実態と治療成績を評価する多施設共同観察研究
 - 研究代表者：谷口浩也（愛知がん）、研究事務局：岡田真央（MSI-H）、小林真理子（BRAF）、児玉紘幸（TMB-H）、大隅寛木（HER2）
 - 委員会レビュー準備中→倫理委員会提出→IRB申請
6. その他（新規研究提案など）

RAS遺伝子野生型の治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する、一次治療での抗VEGF抗体薬または抗EGFR抗体薬併用療法の有効性を腫瘍占居部位別に比較する観察研究

研究責任者：島田安博、研究事務局：伊藤卓彦/高島淳生

N= **935**例集積（R**213**, L**722**）（学会：JSMO2021 奨励賞受賞、論文1、付随研究4〔論文作成中3、**PRTドラフト完成1**〕）

・ 原発巣の病理組織学的特徴を基軸とした切除不能進行・再発大腸癌における予後解析と薬物療法の有効性の比較に関する研究

- 付随研究代表者：上野 秀樹
- 付随研究事務局：安部 紘生/梶原 由規

・ 目的：原発巣の新規病理組織学的因子**の中央判定を行い、切除不能進行・再発大腸癌における**予後予測**指標としての意義と、化学療法の**治療効果予測**指標としての意義を明らかにする**

- 新規病理組織学的因子：
 - ・ 簇出（budding：BD）
 - ・ 低分化胞巣（poorly differentiated clusters：PDC）
 - ・ 線維性癌間質反応（desmoplastic reaction：DR）など

・ 対象：本体研究に登録され、原発巣切除が施行されている症例

・ 方法：

- ① 病理診断用に作製したヘマトキシリン・エオジン（HE）染色プレパラートを研究事務局に貸出
- ② ①.が困難な場合は、以下のいずれかの対応
 - 1. 未染プレパラートを研究事務局に提供
 - 2. HE染色プレパラートのデジタルスライドデータを研究事務局に提供
 - 3. 研究事務局等の訪問によりHE染色プレパラートを評価

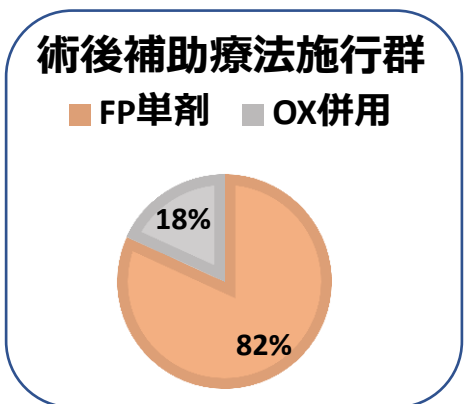
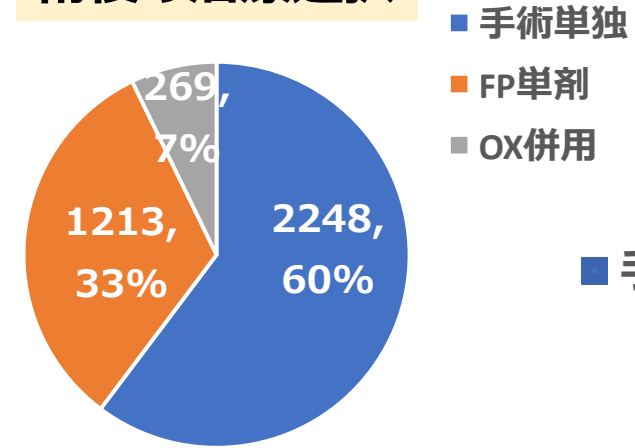
高齡者Stage III大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査（多施設共同観察研究）
MOEST study
A multicenter observational study of adjuvant chemotherapy for elderly patients with stage III colorectal cancer
UMIN登録（UMIN000038965）

研究代表：石川敏昭、事務局：石黒めぐみ

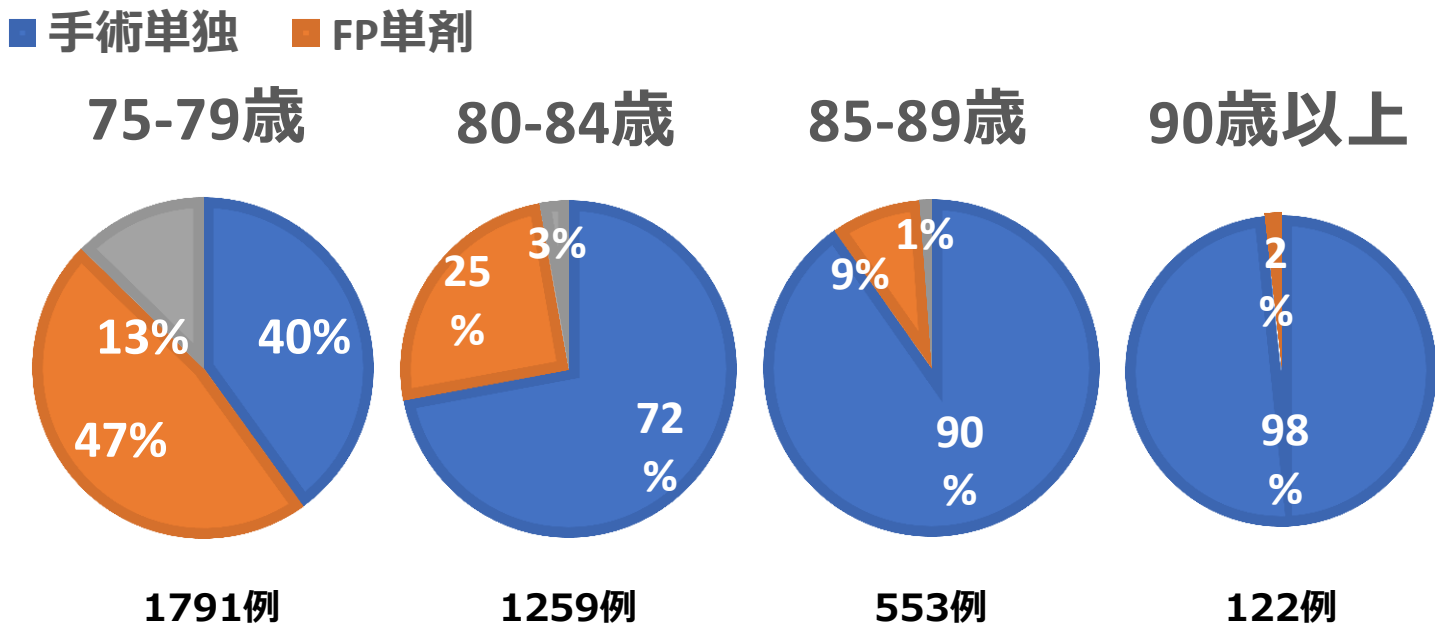
2024年1月9日時点の仮集計

- ◆ 75歳以上のpStage III 大腸癌
◆ 治癒切除：2012年1月～2016年12月
◆ 術後補助化学療法の有無を問わない
- 解析対象 3730例（参加88施設中81施設より3739症例）

術後の治療選択



年齢と治療選択



術後補助化学療法の完遂状況～年齢別

